

マスコミ各位

平成 28 年 5 月 31 日（火）

沖縄県保健医療部健康長寿課 結核感染症班

担 当：山内、仁平

電 話：098-866-2209

つつが虫病の発生について

県内宮古保健所管内においてダニ媒介感染症である「つつが虫病」の患者が3名発生しました。医療機関及び広く県民への注意喚起のため、情報提供します。

【患者の情報】

1. 宮古保健所管内在住 70代 男性。

5月16日 発病（発熱、発疹等）。

5月23日 医療機関受診。発熱39.1℃、全身性発疹、リンパ節膨張。

入院、治療開始。

患者検体（血液、血清、左そけい部のかさぶた）を衛生環境研究所へ送付。

5月25日 患者検体（血液、かさぶた）についてPCR検査を実施。結果、PCR陽性。

（つつが虫病の病原体遺伝子検出）

5月31日 現在も入院治療中

感染源については、現在調査中。

2. 宮古保健所管内在住 60代 女性。

5月23日 発病（発熱）。

5月24日 医療機関受診。発熱。全身性発疹、肝機能障害。

右上腕、右そけい部、左肘に刺し口。

入院、治療開始。

5月25日 患者検体（血液、血清、刺し口のかさぶた）を衛生環境研究所へ送付。

5月27日 退院。

5月30日 患者検体（血液、かさぶた）についてPCR検査を実施。結果、PCR陽性。

（つつが虫病の病原体遺伝子検出）

感染源については、現在調査中。

3. 宮古保健所管内在住 60代 男性。

5月13日頃 発病（発熱）。

5月23日 発疹出現。

- 5月25日 医療機関受診。発熱 39°C、全身性発疹。
左下腹部に刺し口。
入院、治療開始。
- 5月26日 患者検体（血液、血清、刺し口のかさぶた）を衛生環境研究所へ送付。
- 5月30日 患者検体（血液、かさぶた）についてPCR検査を実施。結果、PCR陽性。
（つつが虫病の病原体遺伝子検出）
- 5月31日 現在も入院治療中
感染源については、現在調査中。

【つつが虫病とは】4類感染症

つつが虫病は、つつが虫病リケッチア (*Orientia tsutsugamushi*) を起因病原体とし、山野に入り病原体を保有するダニ（ツツガムシ）に刺されて感染する。ヒト→ヒト感染はない。

臨床症状：発熱(38°C以上)、リンパ節腫脹、発疹、刺し口。

潜伏期：5～14日

治療：テトラサイクリン系の抗生物質等による治療。一般に予後良好。

発生状況：我が国では北海道を除く全都府県から患者が報告され、ここ数年は年間300～400人の患者が毎年報告されている。

【予防】：山野に入る際には、肌の露出を少なくし、防虫スプレーを適宜使用する。むやみに地面に腰を下ろしたり寝転んだりしない。山林や野原に立ち入って1～2週間後発疹や発熱の症状が現れたら、すぐに医療機関で受診する。

【参考】県内のダニ媒介感染症発生状況

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計
つつが虫病	1		1	2		1	2	4	7
日本紅斑熱			1	1	1				3

※2008年の「つつが虫病」1例は県内初報告例

※2010年の「日本紅斑熱」1例は県内初報告例

参考 URL（沖縄県感染症情報センターHPより）

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/documents/2012tutugamusi.pdf>

これだけは知っておきたい

つつが虫病 Q & A

Q 1. つつが虫病ってどんな病気？

A. つつが虫病は、微小なダニ類であるツツガムシ（写真1）の吸着（刺されること）によって感染し、発熱、発疹、刺し口を主徴とする病気です。

Q 2. ツツガムシってどんな生き物？

A. ツツガムシはダニの一種で、山林、河川敷、畑などの地中で生活していますが、幼虫（体長約0.2mm）の時のみ地表に出てきて、ネズミなどの動物に寄生します（写真2）。ツツガムシそのものは毒を持っていませんが、体内につつが虫の病原体を保有しているものがあります。

Q 3. どうやってヒトに感染するの？

A. ツツガムシの幼虫は、地中から出てきて草の先端などで待機し、ネズミなどが通った時に飛び移って寄生します。ヒトがツツガムシの待機場所を歩いたり、地面に腰を下ろした時にも、衣服の隙間からツツガムシが入り込むことがあります。そして地肌の上を動きまわり、吸着します（写真3）。刺された瞬間は、全く痛みを感じません。その時、ツツガムシが保有していた病原体がヒトの体内に入ると、感染することになります。



写真1. ツツガムシ



写真2. ネズミの耳に寄生するツツガムシ



写真3. ヒトの肌に吸着するツツガムシ

Q 4. 感染するとどんな症状がでるの？

A. 感染してから5~14日たった後に、以下の症状が出現します。

① 39℃以上の発熱

② 顔、胸、背中、お腹、手足などに赤い発疹が出る（痛みやかゆみはない）

③ 刺されたところの中央部に直径約5~10mmの黒いかさぶたができて、周囲が赤く腫れる（刺し口の形成）

他にも、体がだるい、食欲がない、頭痛、寒気、筋肉痛、関節痛、リンパ節が腫れる、といった症状がみられることがあります。

治療が遅れると重症となり、死亡することもあります。

Q 5. 発症したヒトから健康なヒトへ、病気がうつることはあるの？

A. ヒトからヒトへの感染はありません。

Q 6. 有効な治療薬はあるの？

A. 早期につつが虫病の可能性を疑って、適切な抗生物質を投与することがとても重要で、テトラサイクリン系の抗生物質が有効とされています。なお、現在、予防に有効なワクチンはありません。

Q 7. 毎年どれくらいの患者が発生しているの？

A. つつが虫病は、北海道を除く全都道府県で患者発生がみられ、全国で毎年300~400例の患者が報告されています。

沖縄県では、2008~2011年に宮古島市で4例の患者が報告されています。

つつが虫病の主な症状



① 発熱

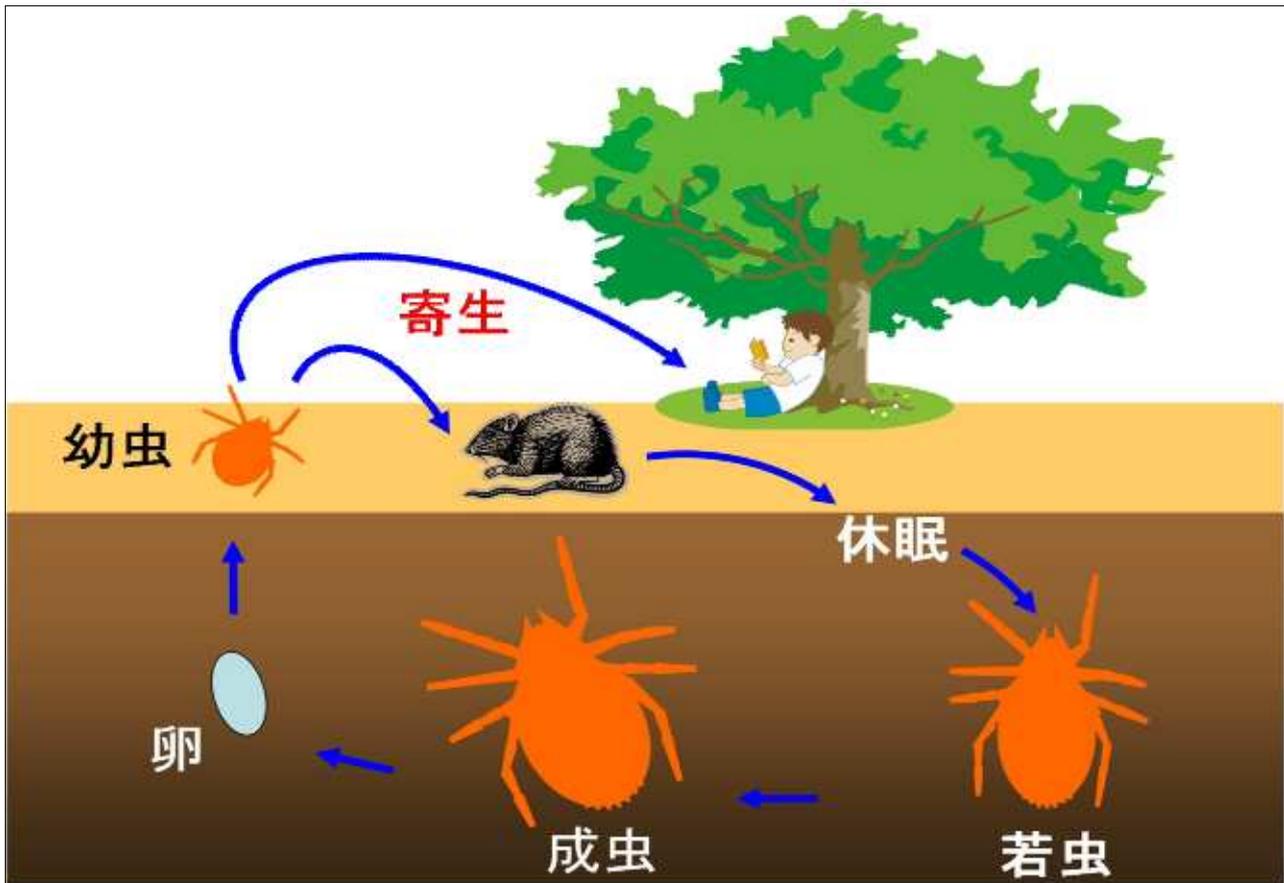


② 発疹



③ 刺し口の形成

ツツガムシの生活環



ダニの一種であるツツガムシの一生は、卵→幼虫→若虫→成虫の4期から成ります。若虫と成虫は地中で生活しています。幼虫だけが地表に現れ、動物やヒトに寄生します。

衛生環境研究所・宮古保健所・リケッチア研究班による調査

宮古島市で発生した4例の患者の血液や刺し口のかさぶたなどを調べた結果、ツツガムシ病の病原体の遺伝子を検出することに成功しました。検出された遺伝子を解析すると、国内よりも台湾に分布するツツガムシ病の遺伝子に似ていることが判明しました。

また、宮古島市でネズミの捕獲調査を実施した結果、ネズミの体表からツツガムシが確認され、「テリーツツガムシ」という東南アジアなどに多く分布している種類であることが分かりました。今後も調査を継続し、このテリーツツガムシの分布、幼虫の活動時期、ツツガムシ病の病原体を保有しているかどうか、などについて解明していく予定です。

むしびょう よ ぼう
つつが虫 病 予防のポイント

はたけ くさ はい とき さ
畑 や草むらに入る時には、ツツガムシに刺されないよ
う、つぎ ちゅうい
う、次のことに注意してください。

はだ ろしゅつ すく ながそで なが
1. 肌の露出をできるだけ少なくするために、長袖、長
てぶくろ ちゃくよう
スポン、手袋などを着用する。

はだ で ぶぶん ぼうちゅう しょう
2. 肌の出る部分には防虫スプレーを使用する。

さぎょうちゅう め うわぎ ぼうし くさ うえ
3. 作業中に脱いだ上着・タオル・帽子などを、草の上
ほうち
に放置しない。

じめん ねころ すわ こ
4. おやみに地面に寝転んだり、座り込んだりしない
しきもの しょう
で、敷物を使用する。

きたく にゅうよく あたら ふく きが め
5. 帰宅したら入浴し、新しい服に着替える。脱いだ
いふく せんたく
衣服は、すみやかに洗濯する。

はたけ くさ はい あと とつぜん はつねつ ほっしん
6. 畑や草むらに入った後、突然の発熱や発疹などの
しょうじょう あらわ ほあい いしゃ み
症状が現れた場合には、すぐにお医者さんに診て
もらう。

と あ さき
問い合わせ先

おきなわけんえいせいかんきょうけんきゅうしょ えいせい か がくはん
沖縄県衛生環境研究所 衛生科学班

でん わ
電話 098 - 945 - 0785